

みて！みて！きて！

ミニ情報



発行者 「エコ・サポート21」
天神3丁目11番31号
電話 23-5144

平成28年1月号

1	金	休館日(元日)
2	土	休館日
3	日	休館日
4	月	サポーター休み
5	火	サポーター休み
6	水	
7	木	
8	金	古着回収日
9	土	休館日
10	日	休館日
11	月	休館日(成人の日)
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	休館日
17	日	休館日
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	休館日
24	日	休館日
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	休館日
31	日	休館日

明けましておめでとうございます。

今年もごみ減量、よろしくお願いたします。

「ウィークエンドリサイクルから見える風景」

私は、ビンの分別の場に立つことが好きです。目の前で分別が行われるからです。若いパパやママが、子どもたちを連れて見ると、「見えた！1組目...」なんて、心の中でつぶやいています。親が子どもの目線に合わせて、姿勢を低くしてビンを色別にどの箱に入れるか教えています。子どもはだんだん自分で判断して入れるようになります。時には迷って、ビンを持った手を止め、私の顔を見上げます。ビンが正しい箱の上だと、できるだけ笑顔(?)を作って、「うん、うん。」と頷きます。すると、子どもは勢いよく箱の中にビンを入れます。そして、ほっとした様子で肩の力を抜き両親の顔を見つめます(なんてかわいい！子どもが一回り大きく見えます)。

このような風景を目にして私のウィークエンドリサイクルへの見方が変わりました。それまでは、地域ごとに回収をしていることと、回収物の量に応じて売却金が地域に入るのに、なぜウィークエンドリサイクルをと思っていました。私の住む地域でも、月1回の回収日にはそれぞれ資源物を一つの物に入れて来て、その場で分別をして行きますが、そこには子どもの姿はありません。ウィークエンドリサイクルはたくさんの人たちが集まります。それだけに、それぞれの家庭での資源の分別方法が見える気がします。そして、そこには子どもの姿があり、「大人も子どももみんな」というところが素敵なことにも思えるのです。次世代を育てる「ヒント」が見えるように思うのですが...。どうでしょうか、このような風景をもっと色々な場面に作り出せたらいいなあと思っています。

このミニ情報のカレンダーにて毎月館内で行われる催しをお知らせいたします。催し物がない日でも、気楽にお出かけください。良い情報交換ができると思います。

環境に配慮したグリーン購入のお手伝いとして、エコ文具の販売、ペットボトルから作ったネクタイの販売と、手づくりのリサイクル品、布ぞうり、袋物、さき織り製品等の販売をしています。

古着の回収

1月8日(金)午前10時から正午

回収する物は、どなたかが着られる状態の衣類で、破れたり、汚れがあったりするものは回収できません。

時間内に持参してください。

ごみ減量にご協力ください。

衣類を燃やさずリサイクルしましょう。

さあ！出かけましょう エコ・ハウスへ

ウィークエンドリサイクルで市民へのお願い

ウィークエンドリサイクルは、市民の皆さんが持参される「缶、ビン、紙類、古布類等」の回収のお手伝いをしながら、このようなことに気を付けています。

1 ビンの回収

- ・ キャップが外してあるか。
- ・ 中身は使い切ってきれいにしてあるか。
- ・ 袋からガラガラと空けられるときは異物混入が無いか。
(例えば、栄養ドリンク等のキャップ)
- ・ 清酒一升瓶、ビール瓶は再利用で酒屋さんへ持って行くと、
ビン代5円返却されます。

2 缶の回収

- ・ 袋からまとめて出される場合、缶以外の混入物が無いか。
- ・ キャップ付き缶コーヒーのキャップを取ってあるか。
(*キャップの内側に樹脂材が付いているので、
赤い字の燃やせないごみ指定袋で出してください)
- ・ ミルク缶、お菓子の缶等、口が開いている缶は潰して出さ
れているか。

立ち会いをしながら、上記のことに意識を向けながら、その都度正しい出し方を説明しながら、理解をしていただけるようお願いをしています。

このウィークエンドリサイクルの立ち会いは、子ども連れも年配者もたくさんの人とコミュニケーションを取りながら指導ができる大変良い場と思い、取り組んできました。

信州うえだ ごみ減量大作戦

わけて(分別)！へらして(減量化)！いかそう(資源化)！
～あなたのひと手間「ごみ」から「資源」に～

このキャッチフレーズで今年は昨年以上の減量実績が上がることを期待しています。

体験コーナー

空き缶のリサイクル

牛乳パックのリサイクル

少しの時間で作れる物があります。

生ごみの堆肥化とごみ減量

わかりやすく、すぐ実行できるごみ減量法をアドバイスいたします(申込不要)。

生ごみ処理基材「ぱっくん」は、
4月1日から、無料で配布しています。
生ごみを燃やさず、有効活用しましょう。御協力ください。

“焼却炉がギブアップです！！”



生ごみ処理基材「ぱっくん」についてのお願い

今、エコ・ハウスでは、ごみ減量、焼却炉延命のため、「ぱっくん」を多くの方に使っていただいています。燃やせるごみの中に生ごみが入られることがないように、ぜひご協力をいただきたいと思います。

そこで、「ぱっくん」について、ぜひ正しい使い方をしていただきたいと思います。

- ・ 段ボールを使うこと。
- ・ 生ごみは水切りをして、少し細かくして入れる。
- ・ 通気性が良く日当たりの良い所に置く。虫が入らないよう、通気性の良いふた(風呂敷等)をしっかりとかける。
- ・ 目安として、3~4人家族の場合は3か月くらい、また、1~2人家族の場合は半年から1年くらいまで使えらと思います。

色々な状況があると思いますが、『アンモニア臭』が出たときが使い終わりの目安です。

それまで、大切にできるだけ長く使っていただきたいと思います。

申し込み、問い合わせ先

「エコ・ハウス」(上田クリーンセンター内) 上田市天神 3-11-31 23 - 5144

エコ・サポート 21 ホームページ <http://www.city.ueda.nagano.jp/haiki/kurashi/gomi/eco-house/>